

区議会レポート

103号



葛飾区議会議員 かわごえ誠一

2024年3月21日発行

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】 〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

本号の内容

表面：令和6年第一回定例会報告

裏面：予算審査特別委員会報告

令和6年区議会第一回定例会開会

◆令和6年区議会第一回定例会が2月15日（木）から3月27日（水）までの42日間の会期で開会しました。

■第七次一般会計補正予算 53億6,289万円議決

◆今定例会では令和5年度第七次補正予算が上程されました。特別養護老人ホーム代替施設用地取得や、保育園など私立児童福祉施設への物価高騰緊急対策経費、生活保護経費などを含む53億6,289万円が2月28日（水）の中間本会議で議決されました。

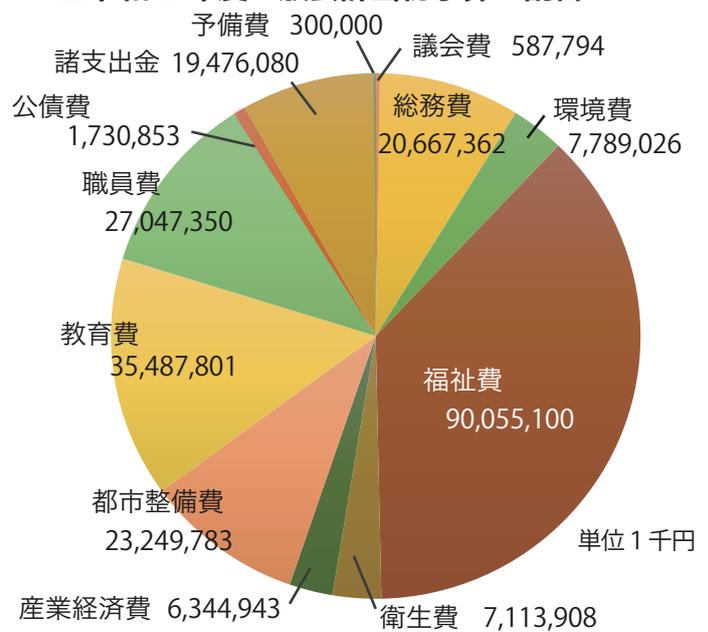
■令和6年度葛飾区一般会計当初予算案 過去最大級 2,398億5,000万円上程

◆今定例会では令和6年度当初予算案が上程されました。◆その内、一般会計では過去最大規模となる2,398億5千万円が上程されました。◆歳入面では国の定額減税により減収が見込まれましたが、地方特例交付金での補填により影響が軽減されることや、特別区交付金が原資となる調整税の堅調な推移や児童相談所設置に伴う加算などにより税など一般財源として81億円の増となっています。◆一方、歳出面では物価高騰の影響により事業費全体が増加傾向にあることや、子育て支援施設などへの経費、扶助費が高水準で推移することが見込まれています。◆今後も楽観的な見通しばかりではないことに注意しなければなりません。◆当初予算は定例会開会直後に設置された予算審査特別委員会で審査されたのち、3月12日に採決され賛成多数で承認されました。

■予算案概要から・子育て・教育関係

◆今回の予算案ではこれまで求めてきた学童保育の待機児童対策としてモデルプラン「かつしかプラス」の実施が盛り込まれました。◆また、にほんごステップアップ教室の新小岩教室の開設も実現することになりました。◆保育園の送迎保育ステーションについてはカナマチぶらっとを拠点にモデル事業が計画されています。

■令和6年度一般会計当初予算の割合



■予算案概要から・防災・防犯・まちづくり関係

◆災害対策として地震後の通電火災防止のための感震ブレーカーの設置助成、新耐震基準グレーゾーン住宅への耐震化助成、避難行動要支援者への支援対策の充実などが盛り込まれました。◆また、防犯対策として防犯カメラやセンサーライトなどへの助成も新規事業として盛り込まれました。◆まちづくり関係では、立石地域で再開発と合わせ立石全体のまちづくりを考える「まちづくり協議会」の準備がはじまります。◆また、水辺整備では中川の高砂橋から上流部の「かわまちづくり」が進められます。

■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石 8-4 7-1 8

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

◆かわごえ誠一プロフィール◆

●1963年3月川崎市生まれ ●立石在住34年 ●防災士 ●子育てネットワーク・学童保育・PTAなどの活動に取組む ●都議会議員秘書を経て2013年区議選で初当選・2021年三期目当選 ●議会所属：危機管理対策特別委員会副委員長・保健福祉委員会・議会運営委員会など

かわごえ誠一オフィシャルサイト www.kawagoeseiichi.com →

日々の活動は Facebook かわごえ誠一 をご覧ください。



令和6年度予算審査特別委員会総括質疑報告



◆3月4日に開かれた予算審査特別委員会総括質疑にかわごえ誠一が登壇しました。ここではその質問項目を報告します。

1：新年度の組織体制と人材育成について

◎幹部職員の確保や今後の職員の人材育成について伺いました。

- ◆人口減少社会に向けた人材確保・人材育成について
- ◆区の組織のあり方について

2：SDGs 推進について

◎COP28の成果やSDGs推進計画について伺いました。

- ◆ゼロエミッション・地球温暖化対策について
- ◆SDGs推進計画の実現について

3：(仮称)人権基本条例について

◎人権条例の方向性を確認しました。

- ◆条例制定への課題意識について
- ◆人権施策推進指針の評価について
- ◆区のハラスメント対策について
- ◆人権関連の法律との関係について
- ◆条例策定の検討組織と策定後の推進体制について

4：学童保育の待機児童対策と放課後支援について

◎学童保育の待機児童について組織を越えた対策を求めました。

- ◆教育委員会の放課後支援の方向性について
- ◆公立学童保育について ◆公立・私立の所管組織について他

令和6年度予算審査特別委員会分科会報告

◆第一回定例会では令和6年度当初予算案が上程され、議会初日に予算審査特別委員会が設置されました。3月4日の総括質疑を皮切りに費目別の四つの分科会に分かれ審査されました。かわごえ誠一は福祉費を審査する第二分科会(3月6日開催)及び、教育費と各特別会計などを審査する第四分科会(3月8日開催)に所属しました。以下、分科会でのかわごえの発言の要旨を報告します。

◆第二分科会 (福祉費)

■ 環境費 ■

● 社会福祉費

◆放課後等児童デイサービスは4月からの制度改定などの説明を事業者丁寧にすること。児童相談所の移管により指導検査の権限が区に移管されたことを受け、事業者の質の向上に努めるとともに、早急なBCP策定への支援を求める。また、今後保護者の就労支援の観点から学齢期前の障がい児保育のあり方の検討を求める。

◆社会福祉協議会が設置する災害ボランティアセンターは、地域防災計画の中で役割を明確にし、所管課が責任を持って対応せよ。

● 児童福祉費

◆(仮称)子ども総合計画の策定においては、12月に閣議決定された「子どもの居場所づくりの指針」を踏まえ、葛飾区としても居場所づくりの考えを明確にするように求める。

◆子ども・若者支援事業経費では、地域協議会での専門部会がほぼ紙面開催であったことを踏まえ、対面以外のオンラインなども活用することや、多忙な会長の代行などあり方の検討を求める。

◆高卒認定試験受講補助は制度導入を高く評価する。中学校の進路指導や支援団体へも周知を進めることを求める。高校生世代へは支援が届かない状況があるため、様々な資源との連携を求める。

◆学童保育事業運営経費は公立学童保育クラブでも待機児童が発生している状況を早急に解消すること。特に近隣に私立学童法人の資源が無い地域では、公立が待機児童解消のために努力すべきであり、教育委員会とプロジェクトチームをつくるなど、待機児童対策を進めよ。また、障がい児受け入れのため、受入れ児童数を制限したことなどを踏まえ、障がい児への対応など公立学童でしかできない役割を明確にし、体制整備をすることを求める。

■ 衛生費 ■

● 公衆衛生費

◆難病対策事業支援経費は難病が「いつだれの身に起きてもおかしくないこと」を念頭に、社会的理解を育むため、2月末日の「世界希少難病の日」などを利用し、社会的周知を進めること。

● 環境衛生費

◆環境衛生事業費においてインバウンド増加により区内でも民泊が増え、それに伴い近隣とのトラブルの増加も予想される。住民の住環境を守るため、区として条例などでの規制の検討を求める。

◆第四分科会 (教育費・特別会計他)

■ 教育費 ■

● 教育総務費

◆いじめ対策は学校現場での初動が重要である。学校の初動体制の支援を進めた上で、総合教育センターの専門的資源と連携せよ。

◆学習センター・学校図書館は新聞導入を評価する。また、夏季休業中の開館を評価する。学校規模の大小により学校司書の業務に差が生じており、学校規模に応じた学校司書の体制を検討する必要がある。本田小学校では学校図書館が狭く、廊下に書架が出されている状況があるため早急な環境整備の検討を求める。

◆特別支援教育推進経費の連合運動会などの連合行事は児童生徒の負担軽減や、インクルーシブ教育の考えを元に、在籍する学校での交流を重視した取り組みや支援を求める。

◆総合教育センターは来年度、体制が充実されることを評価する。

◆不登校対策は「適応指導教室」から「教育支援センター」への名称変更を評価するとともに、親の会の充実や科学センターの活用を求める。また、校内サポートルームは学校ごとの特徴があっても良いが、質に差があってはいけない。先日全校を対象に不登校の研修が行われたことを評価し、今後、区内のサポートルームの先進事例の共有を進め、区全体での不登校支援の充実を求める。

◆スクールカウンセラーは今後、医療的ケア児など多様な課題への対応が求められ、学校内での活用をさらに求める。またケースを共有するための情報交換と共にスーパーバイザーの導入を検討せよ。

● 社会教育費

◆図書館管理運営経費では、図書館の「取組方針」の改訂を評価するとともに、専門的な知見を導入し、施設整備も含めた計画的な整備を求める。また、子ども読書推進計画の検討を進めること。

◆博物館管理運営経費では郷土と天文の博物館の学芸員など専門職の計画的な人材育成を求めるとともに、地下にある収蔵庫の水害対策など、収蔵文化財の保護も含めたBCPの整備を求める。

◆家庭教育支援事業の早寝早起き朝ご飯カレンダーは学校現場も関わって作成した経緯を再確認し、学校現場での活用を再考せよ。

● 社会体育費

◆障害スポーツ推進経費では、障害者スポーツ推進のための課題を整理する必要がある。障害スポーツで利用できる場所や指導者など、推進のための具体的な環境整備を検討することを求める。